

健診センターからのお知らせ

『眼科ドック』 中高年の皆さま、 眼の成人病チェックをしませんか？

『眼科ドック』は、「眼の成人病」と呼ばれる白内障・緑内障・加齢黄斑変性症・糖尿病性網膜症などのほか、目の疲れだけでなく視力低下や結膜炎・角膜炎を起こす可能性がある「ドライアイ」などを早期発見するための精密眼科ドックです。

現在、日本で失明原因の第一位は緑内障です。また、生活習慣の欧米化などに伴い、加齢黄斑変性症も増加しています。糖尿病性網膜症を含め、失明に至る可能性のあるこれらの疾病は徐々に進行するため、ご自身では気づきにくいという特徴があります。大切なのは、早期発見し早期に治療を開始して進行をおさえることです。

眼に不安のある方はもちろん、自覚症状のない方でも一度眼科的な健康診断を受けましょう。

【実施時間】 月・水・木曜日 13:00～と15:00～ 1時間程度

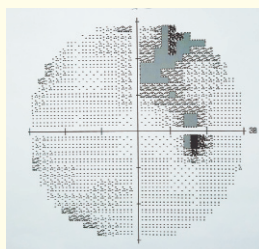
【費用】 10,000円（税込）

【予約・お問い合わせ】 市立貝塚病院健診センター ☎072-422-5865（代表）

要予約

眼科ドックのみの
受診可能！

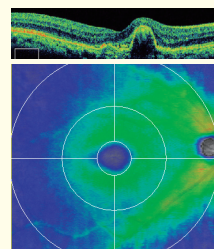
検査内容	目的等
屈折検査	近視、遠視、乱視などを測定します。
視力検査	裸眼視力、矯正視力（屈折検査で得た度数をもとにする）を測定します。 また、老眼の有無やメガネの必要性なども調べることができます。
精密眼圧検査	眼の硬さを測定します。眼圧上昇により緑内障を引き起こすことがあります。
静的量的視野検査 （ハンフリー）	視野に異常がないかを測定します。 この視野検査は緑内障や脳の病気の診断に役立ちます。
眼底力メウ検査	眼の奥（視神経、黄斑部、血管等）の撮影をします。 眼底出血（糖尿病や高血圧）、緑内障による視神経乳頭の変化の有無を調べます。
光干渉断層計（OCT）	網膜を断層撮影し、加齢黄斑変性や糖尿病性網膜症、緑内障などの診断をします。
角膜内皮細胞顕微鏡検査	細胞の密度や状態を検査します。 内皮細胞は加齢や長期間のコンタクトレンズ装着により減少することがあります。
精密視野検査 （アムスラー）	見たい部分が歪んでいないか、暗く見えていないかを調べます。 加齢黄斑変性など中心が暗く見えたり、歪んで見えたり、部分的に欠けて見えることがあります。
細隙灯顕微鏡検査（前眼部 及び後眼部）染色検査	白内障、角膜疾患、ドライアイなどを調べます。
（メガネチェック）	（老眼チェックを想定。当該ドック受診の方のうち、必要な方にはサービスで対応。）
問診／診察	



静的量的視野検査
（ハンフリー）



眼底力メウ検査



光干渉断層計（OCT）